



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月8日

上場会社名 株式会社オンワードホールディングス

上場取引所 東

コード番号 8016

URL <https://www.onward-hd.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）保元 道宣

問合せ先責任者（役職名）取締役 財務・経理・IR担当

（氏名）吉田 昌平

（TEL）03(4512)1030

半期報告書提出予定日 2026年10月14日

配当支払開始予定日 2026年11月10日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 （機関投資家・証券アナリスト・報道機関向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	117,525	4.3	6,139	7.0	5,936	7.5	5,625	16.6
2026年2月期中間期	112,636	18.4	5,736	9.1	5,521	5.9	4,822	17.4

（注）包括利益 2027年2月期中間期 4,790百万円（71.3%） 2026年2月期中間期 2,797百万円（△58.3%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	41.33	41.32
2026年2月期中間期	35.50	35.47

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費およびのれん償却費）

2027年2月期中間期 8,961百万円（6.6%） 2026年2月期中間期 8,408百万円（9.3%）

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	183,505	96,398	52.5
2026年2月期	189,223	93,588	49.4

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 96,376百万円 2026年2月期 93,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	14.00	—	16.00	30.00
2027年2月期	—	16.00			
2027年2月期（予想）			—	20.00	36.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2027年2月期（予想）期末配当金の内訳 普通配当 17円00銭 記念配当 3円00銭

詳細につきましては、本日（2026年10月8日）公表の「配当予想の修正（創業100周年記念配当の実施）に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	247,000	4.3	12,800	10.3	12,300	10.0	11,200	10.9	82.34

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

（参考）EBITDA（営業利益＋減価償却費およびのれん償却費）

2027年2月期通期（予想）18,800百万円（9.3%） 2026年2月期通期 17,195百万円（11.3%）

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 有
新規 1 社 (社名) 株式会社コスメ・デ・ボーテ 、除外 ー 社 (社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年2月期中間期	141,921,669株	2026年2月期	141,921,669株
② 期末自己株式数	2027年2月期中間期	5,641,462株	2026年2月期	5,906,571株
③ 期中平均株式数 (中間期)	2027年2月期中間期	136,111,632株	2026年2月期中間期	135,849,412株

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果などにより、緩やかに回復しているものの、中東情勢や米国の通商政策の動向、各地で発生した自然災害の影響などもあり、経済環境の先行きは依然として不透明な状況が続いています。

このような経営環境の中、当社グループは、戦略強化ブランドを中心としたプロモーション施策等が奏功し、売上高は拡大しました。一方、原材料等コストの上昇や、在庫水準の適正化に向けた販売施策を進めた結果、売上総利益率は低下しましたが、店舗運営や販促プロモーションの効率化の徹底等により、販管費率が低下し、全段階利益において増益となりました。

以上の結果、連結売上高は1,175億25百万円(前年同期比4.3%増)、連結営業利益は61億39百万円(前年同期比7.0%増)、連結経常利益は59億36百万円(前年同期比7.5%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は56億25百万円(前年同期比16.6%増)となりました。

また、当社グループでは、新規事業の創出やM&A等を活用した事業基盤の強化・拡大により成長を加速していく中で、会計基準の差異にとらわれることなく企業比較を容易にすることを目的とし、EBITDA(営業利益+減価償却費およびのれん償却費)を重要な経営指標としています。

当中間連結会計期間のEBITDAは89億61百万円(前年同期比6.6%増)となりました。

セグメント別の状況は、次のとおりです。

[国内事業]

株式会社オンワードパーソナルスタイルや株式会社チャコットが好調に推移し、増収となりました。ブランド別では『カシヤマ』、『アンフィーロ』、『チャコット・コスメティクス』等の戦略強化ブランドがデジタルマーケティングやプロモーションの強化等により好調に推移しました。

以上の結果、国内事業の業績は増収増益となりました。

[海外事業]

ヨーロッパ地域は、英国ロンドン発祥のコンテンポラリーデザイナーズブランドであるJOSEPH事業において、Eコマース売上は伸長したものの、小売・卸売が低調に推移し、赤字幅が拡大しました。

アメリカ地域は、トラディショナルブランドであるJ. PRESS事業の店舗・Eコマース売上高がともに伸長し、大幅な増収、黒字転換となりました。

アジア地域は、オーダースーツの生産受注増加に伴い、大連工場の稼働率が向上し、増収増益となりました。

以上の結果、海外事業の業績は増収となったものの、赤字幅が拡大しました。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産、負債、純資産の状況)

当中間連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ57億18百万円減少し、1,835億5百万円となりました。これは主に、商品及び製品が17億10百万円、のれんが21億98百万円増加し、現金及び預金が94億7百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ85億28百万円減少し、871億7百万円となりました。これは主に、電子記録債務が52億96百万円、未払法人税等が16億53百万円、長期借入金が11億56百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ28億10百万円増加し、963億98百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する中間純利益の計上による増加56億25百万円、為替換算調整勘定の増加4億57百万円、その他有価証券評価差額金の減少9億42百万円、剰余金の配当による減少21億76百万円によるものです。

この結果、自己資本比率は52.5%となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前中間純利益、棚卸資産の増加、売上債権の減少、仕入債務の減少等により37億74百万円の支出(前年同期は39億80百万円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出、投資有価証券の売却による収入、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出等により39億59百万円の支出(前年同期は11億69百万円の支出)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の増減および配当金の支払いが主なもので18億45百万円の支出(前年同期は58億95百万円の支出)となりました。

これらの結果、当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べて94億14百万円減少し、103億円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年2月期の通期の連結業績予想につきましては、2026年4月9日公表の業績予想から変更ありません。

なお、配当予想につきましては、本日公表の「配当予想の修正(創業100周年記念配当の実施)」に関するお知らせをご参照ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	19,715	10,308
受取手形、売掛金及び契約資産	18,756	17,231
商品及び製品	44,825	46,536
仕掛品	580	740
原材料及び貯蔵品	4,305	4,503
その他	4,601	5,799
貸倒引当金	△258	△263
流動資産合計	92,525	84,857
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	18,683	18,755
土地	18,910	18,920
その他(純額)	5,824	5,859
有形固定資産合計	43,418	43,534
無形固定資産		
のれん	4,818	7,016
その他	6,763	6,886
無形固定資産合計	11,581	13,903
投資その他の資産		
投資有価証券	13,446	11,824
退職給付に係る資産	15,107	15,352
繰延税金資産	2,717	2,651
その他	10,519	11,467
貸倒引当金	△92	△85
投資その他の資産合計	41,698	41,209
固定資産合計	96,698	98,648
資産合計	189,223	183,505

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,385	11,106
電子記録債務	7,170	1,873
短期借入金	31,082	33,496
未払法人税等	3,379	1,726
賞与引当金	1,091	1,309
役員賞与引当金	145	41
その他	14,405	12,647
流動負債合計	68,661	62,201
固定負債		
長期借入金	15,250	14,094
退職給付に係る負債	2,546	2,493
役員退職慰労引当金	22	24
資産除去債務	3,358	3,491
その他	5,796	4,801
固定負債合計	26,974	24,905
負債合計	95,635	87,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,079	30,079
資本剰余金	37,390	37,390
利益剰余金	26,224	29,608
自己株式	△4,694	△4,433
株主資本合計	89,000	92,645
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,551	1,609
繰延ヘッジ損益	17	6
土地再評価差額金	△5,806	△5,806
為替換算調整勘定	1,690	2,147
退職給付に係る調整累計額	6,112	5,772
その他の包括利益累計額合計	4,565	3,730
新株予約権	21	21
純資産合計	93,588	96,398
負債純資産合計	189,223	183,505

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
売上高	112,636	117,525
売上原価	50,127	53,518
売上総利益	62,508	64,006
販売費及び一般管理費	56,772	57,867
営業利益	5,736	6,139
営業外収益		
受取利息	22	19
受取配当金	134	107
持分法による投資利益	-	9
為替差益	-	15
その他	168	202
営業外収益合計	325	353
営業外費用		
支払利息	256	351
持分法による投資損失	66	-
為替差損	84	-
その他	131	205
営業外費用合計	539	556
経常利益	5,521	5,936
特別利益		
投資有価証券売却益	1,708	1,411
特別利益合計	1,708	1,411
特別損失		
減損損失	714	243
その他	15	1
特別損失合計	730	244
税金等調整前中間純利益	6,500	7,103
法人税等合計	1,677	1,477
中間純利益	4,822	5,625
親会社株主に帰属する中間純利益	4,822	5,625

中間連結包括利益計算書

(単位:百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	4,822	5,625
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,456	△935
繰延ヘッジ損益	△14	△10
為替換算調整勘定	△452	449
退職給付に係る調整額	△96	△339
持分法適用会社に対する持分相当額	△6	0
その他の包括利益合計	△2,025	△834
中間包括利益	2,797	4,790
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	2,797	4,790

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 百万円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	6,500	7,103
減価償却費	2,145	2,159
減損損失	714	243
のれん償却額	526	662
貸倒引当金の増減額(△は減少)	3	△4
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△261	△244
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△84	△61
退職給付に係る調整累計額の増減額(△は減少)	△88	△496
受取利息及び受取配当金	△156	△126
支払利息	256	351
持分法による投資損益(△は益)	66	△9
固定資産処分損益(△は益)	12	1
売場什器等除却損	26	27
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,708	△1,411
売上債権の増減額(△は増加)	△572	1,766
棚卸資産の増減額(△は増加)	△3,871	△1,601
仕入債務の増減額(△は減少)	2,081	△5,734
その他	△531	△3,043
小計	5,058	△417
利息及び配当金の受取額	177	126
利息の支払額	△298	△315
法人税等の支払額	△1,055	△3,178
法人税等の還付額	97	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,980	△3,774
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,850	△1,476
有形固定資産の売却による収入	-	1
投資有価証券の取得による支出	△3	△4
投資有価証券の売却による収入	-	1,674
無形固定資産の取得による支出	△785	△884
差入保証金の差入による支出	△301	△353
差入保証金の回収による収入	1,365	230
長期前払費用の取得による支出	△2	△3
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	-	△2,485
その他	406	△657
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,169	△3,959
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△117	1,400
長期借入れによる収入	1,000	4,000
長期借入金の返済による支出	△2,794	△4,672
配当金の支払額	△3,529	△2,176
その他	△453	△397
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,895	△1,845
現金及び現金同等物に係る換算差額	△93	164
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△3,178	△9,414
現金及び現金同等物の期首残高	13,505	19,715
現金及び現金同等物の中間期末残高	10,327	10,300

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

I 前中間連結会計期間(自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	国内事業	海外事業	計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	104,650	7,986	112,636	—	112,636
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	566	1,793	2,360	△2,360	—
計	105,216	9,780	114,996	△2,360	112,636
セグメント利益又は損失(△)	6,200	△130	6,069	△333	5,736

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△333百万円には、のれんの償却額△526百万円およびセグメント間取引消去2,171百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,977百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な発生および変動はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 百万円)

	国内事業	海外事業	計	調整額 (注) 1	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 2
売上高					
(1) 外部顧客への売上高	108,810	8,715	117,525	—	117,525
(2) セグメント間の内部売上高 又は振替高	491	2,197	2,688	△2,688	—
計	109,302	10,912	120,214	△2,688	117,525
セグメント利益又は損失(△)	7,066	△497	6,568	△428	6,139

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△428百万円には、のれんの償却額△662百万円およびセグメント間取引消去2,205百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,971百万円が含まれています。全社費用は主にセグメントに帰属しない一般管理費です。

2. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と一致しています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

当中間連結会計期間において、株式会社コスメ・デ・ボーテの全株式を取得し、連結子会社としました。これにより、のれんを2,848百万円計上しています。なお、のれんの金額は当中間連結会計期間末において取得原価の配分が完了していないため、暫定的に算定された金額です。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。